

1996年6月の地震活動について

1 主な地震活動

沖永良部島付近でM5.6の地震、西表島の北西沖合でM5.3を最大とする地震活動があった。

2 各地方別の地震活動

(1) 北海道地方

1994年の北海道東方沖地震の震源域中央部で6月19日にM5.5の余震があった。

(2) 東北地方

1994年の三陸はるか沖地震の震源域で6月26日にM5.0の余震があったほか、福島県南西部で6月2日にM4.3、岩手県中部で6月5日にM4.4の地震があり、それぞれの余震活動はほぼ収まっている。

(3) 関東・中部地方

6月12日に銚子付近でM4.4を最大とする深さ約60kmの地震活動があったほかは、特に目立った活動はなかった。

○東海地方では、駿河湾の地震活動は静穏であった。掛川ー御前崎間のGPS観測によれば、基線長、上下変動とも特段の変化は見られない。

(4) 近畿・中国・四国地方

京都府中部で5月23日から6月14日にかけて、M3.9(5月29日)を最大とする地震活動があったほか、鳥取県西部で6月15日にM4.2の地震があった。余震は16日まで多発したが、下旬には収まった。

(5) 九州・沖縄地方

沖永良部島付近でM5.6の地震、西表島の北西沖合でM5.3を最大とする地震活動があったほか、熊本県西部でM4.3の地震があった。

○6月29日に熊本県西部でM4.3の地震があった。余震は7月5日までにほぼ収まっている。

○6月2日に沖永良部島の北西約30km沖合でM5.6の地震があった。余震は下旬にはほぼ収まっている。

○6月9日から西表島の北西約80km沖合で最大M5.3の地震活動があった。9～10日に活動は集中したが、その後は散発的である。

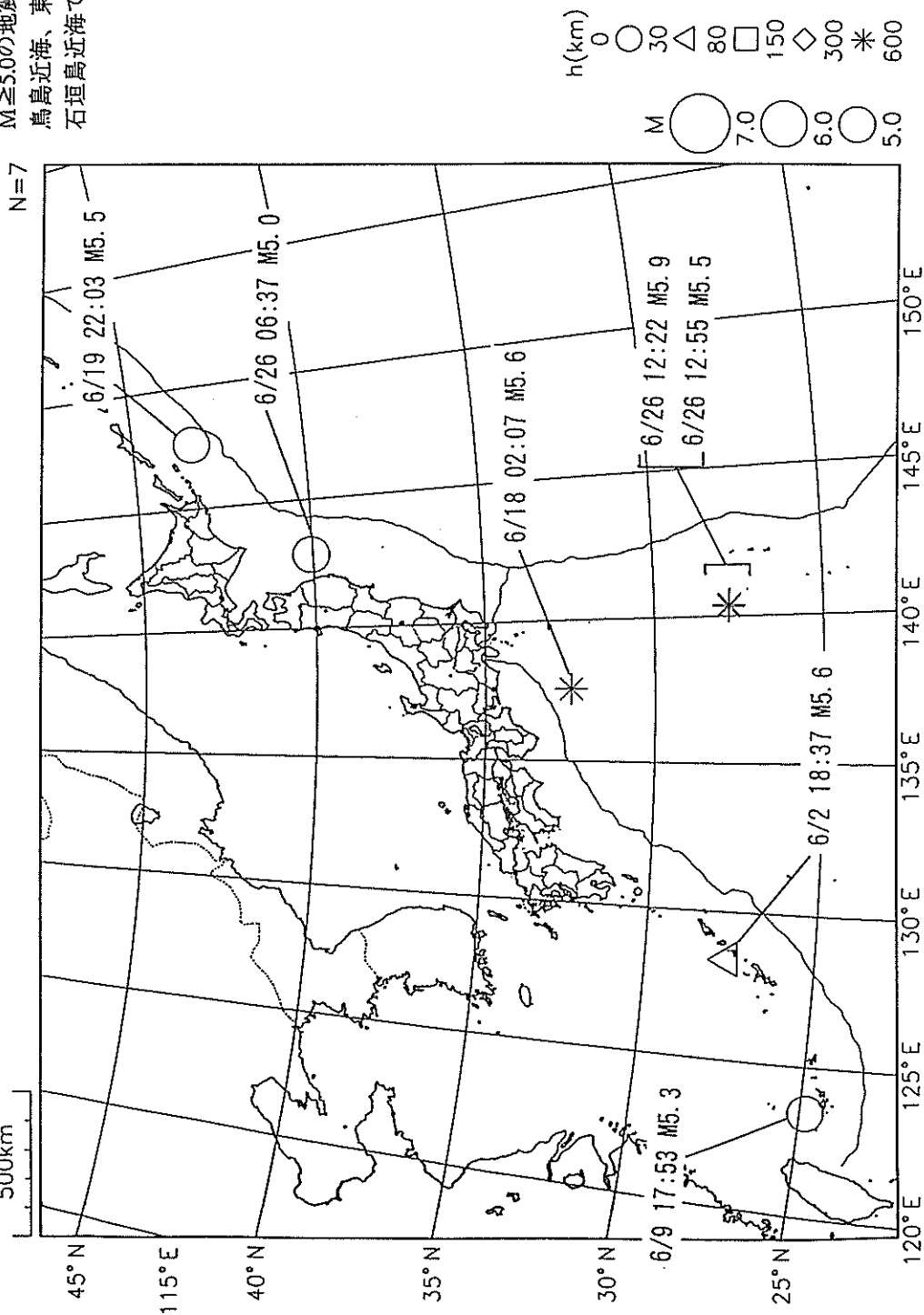
(補足)

7月(1～9日)の主な地震活動

○1994年の三陸はるか沖地震の震源域の北西部で7月4日にM5.1の余震が発生した。

全国 $M \geq 5$ (1996/6/1-1996/6/30)

1996 06 01 00:00 -- 1996 06 30 24:00



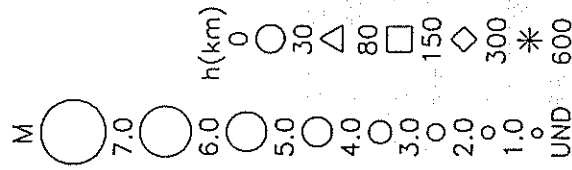
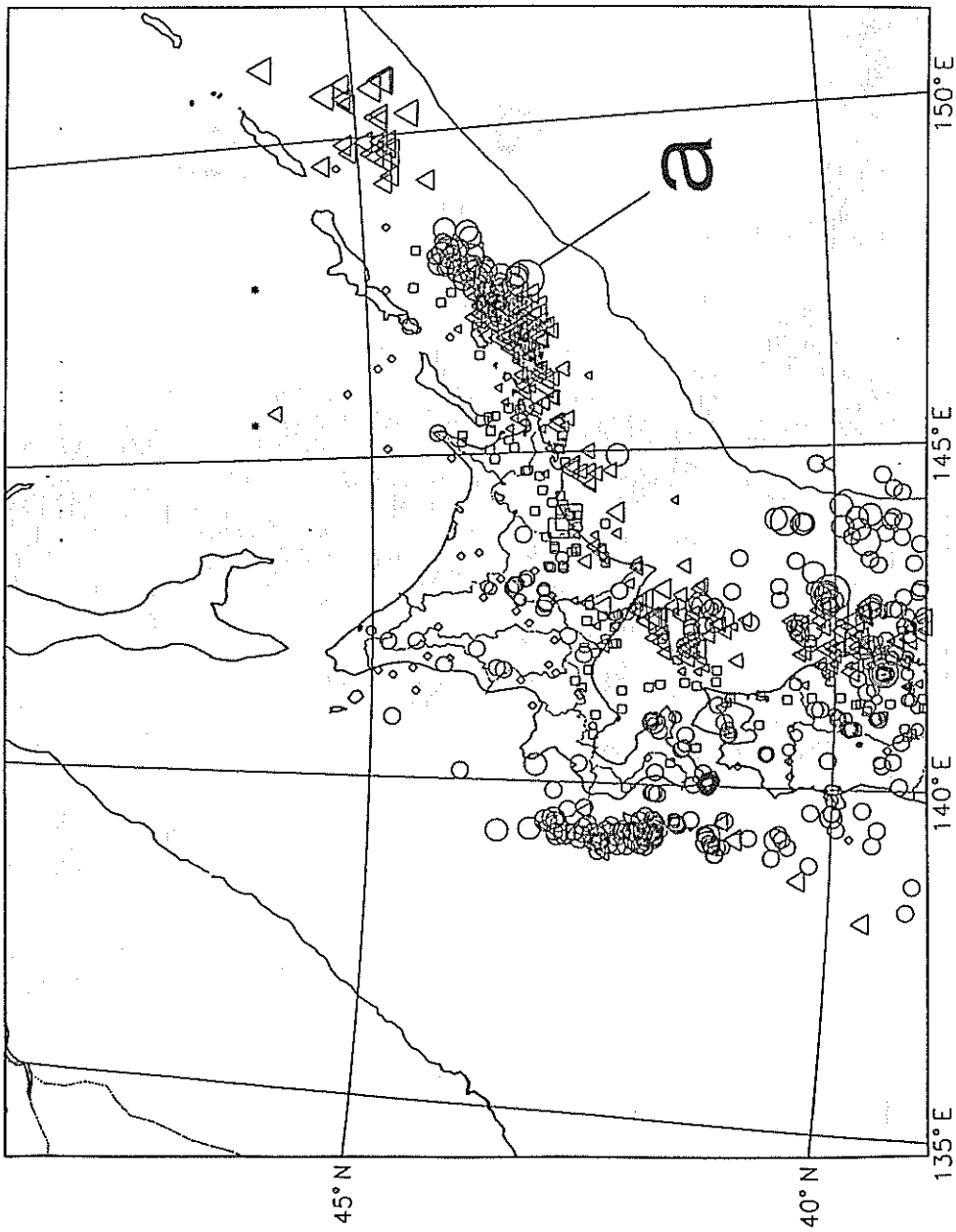
$M \geq 5.0$ の地震が、北海道東方沖、岩手県沖、
鳥島近海、東海道はるか沖、沖縄本島近海、
石垣島近海で発生した。

北海道地方

1996 06 01 00:00 -- 1996 06 30 24:00

N=977

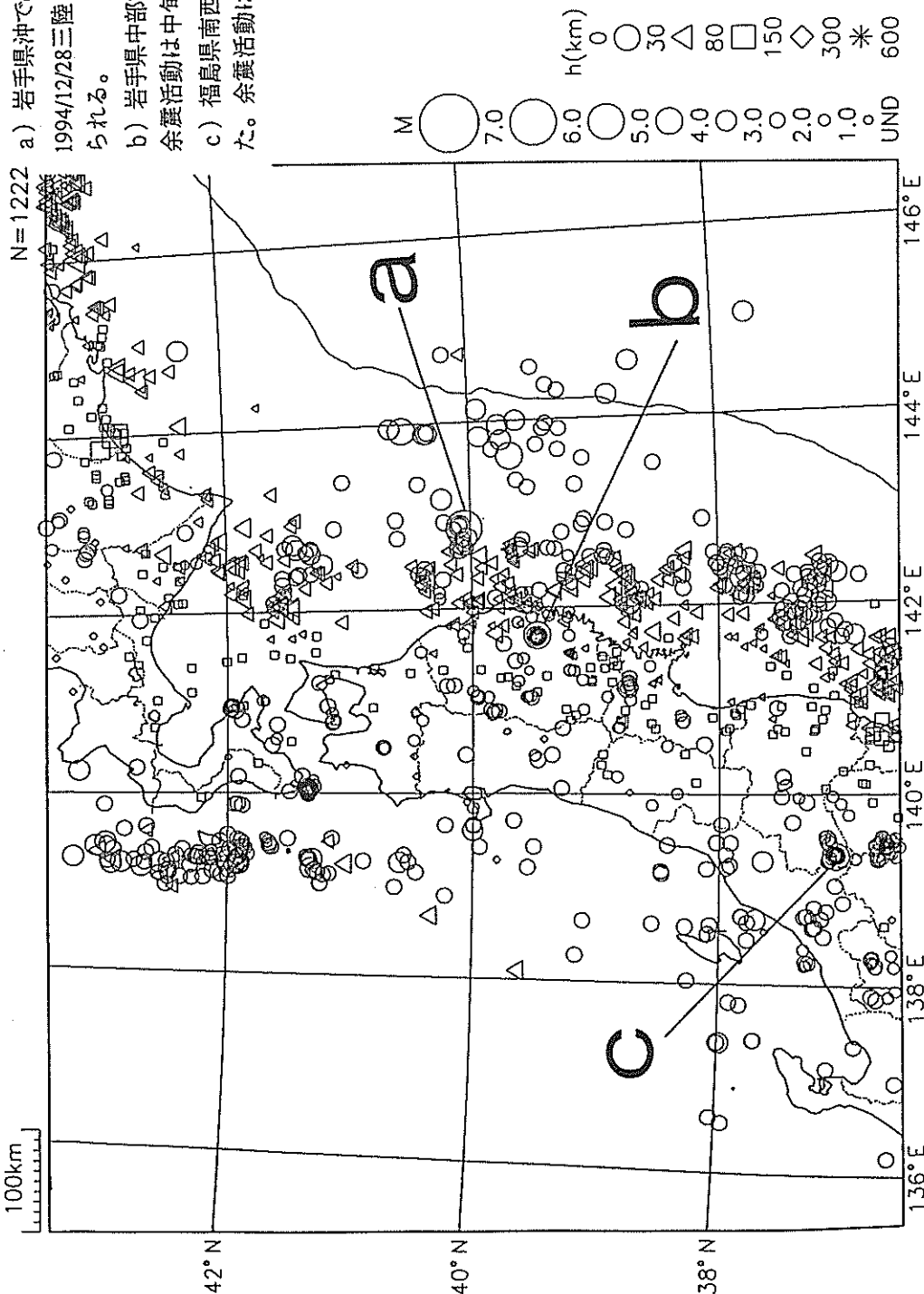
500km



a) 北海道東方沖で6/19にM5.5の地震が発生した。北海道東方沖地震(1994/10/4 M8.1)の余震とみられる。

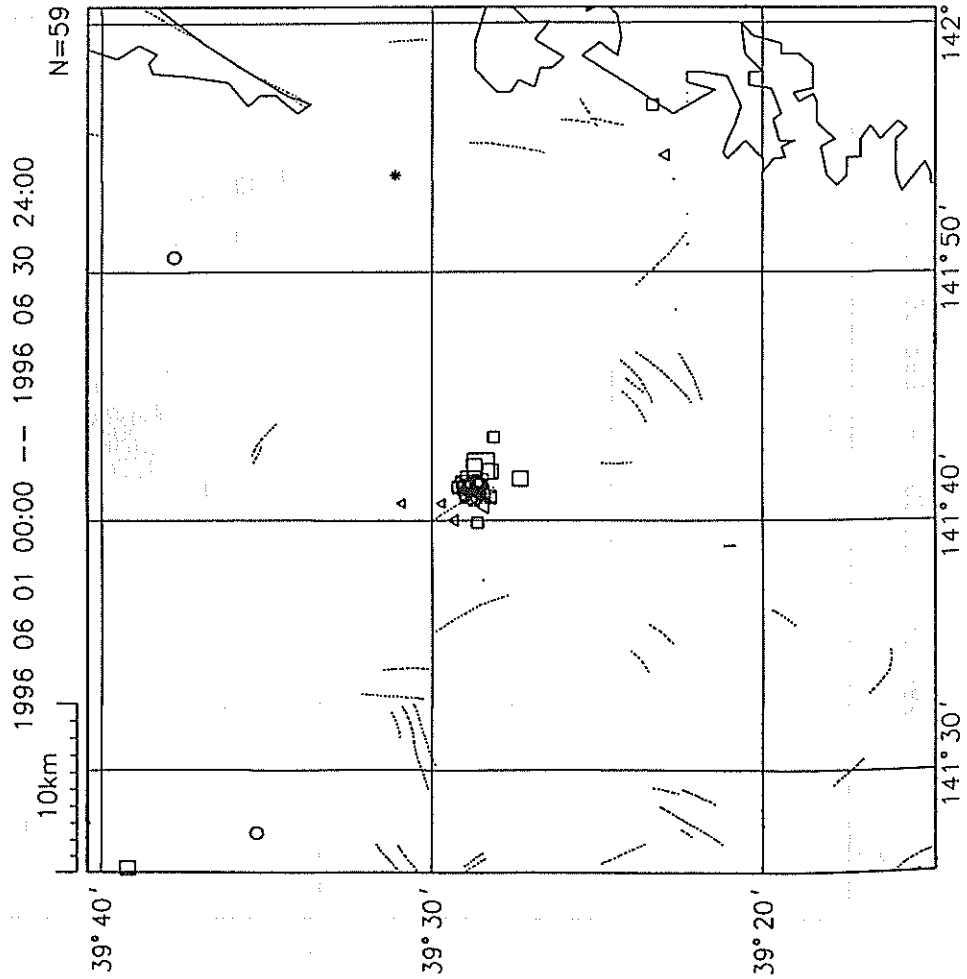
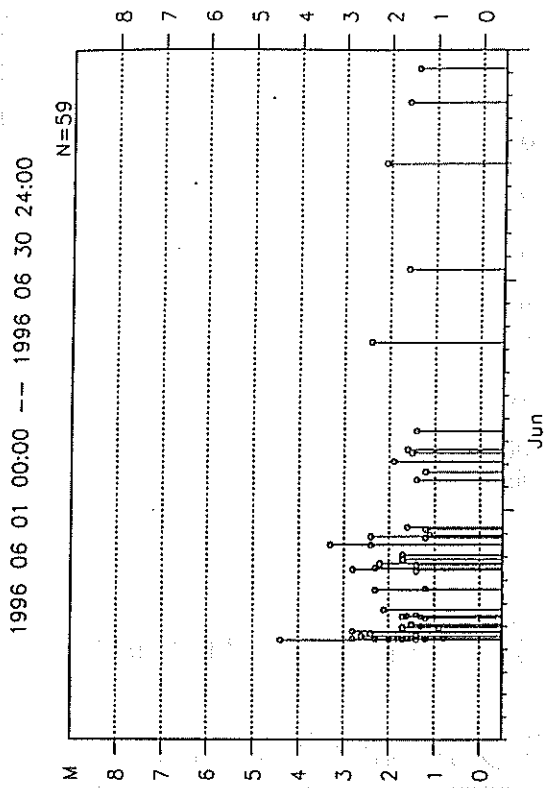
東北地方

1996 06 01 00:00 -- 1996 06 30 24:00



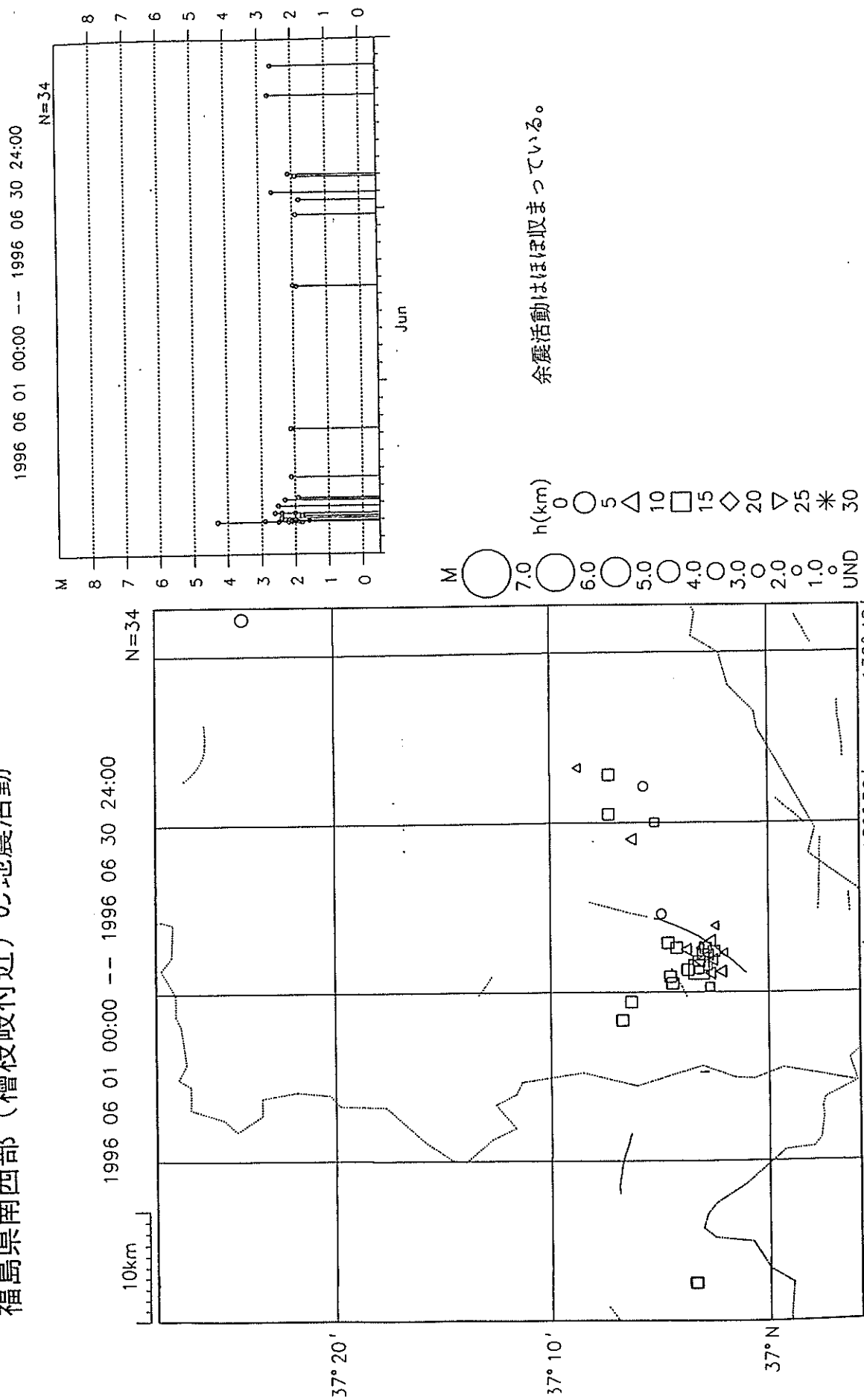
- a) 岩手県沖で6/26にM5.0の地震が発生した。1994/12/28三陸はるか沖地震M7.5の余震と見られる。
- b) 岩手県中部で6/5にM4.4の地震が発生した。余震活動は中旬にはほぼ収まっている。
- c) 福島県南西部で6/2にM4.3の地震が発生した。余震活動はほぼ収まっている。

岩手県中部（小国付近）の地震活動



余震活動は中旬にはほぼ収まっている。

福島県南西部（檜枝岐付近）の地震活動



余震活動はほぼ収まっている。

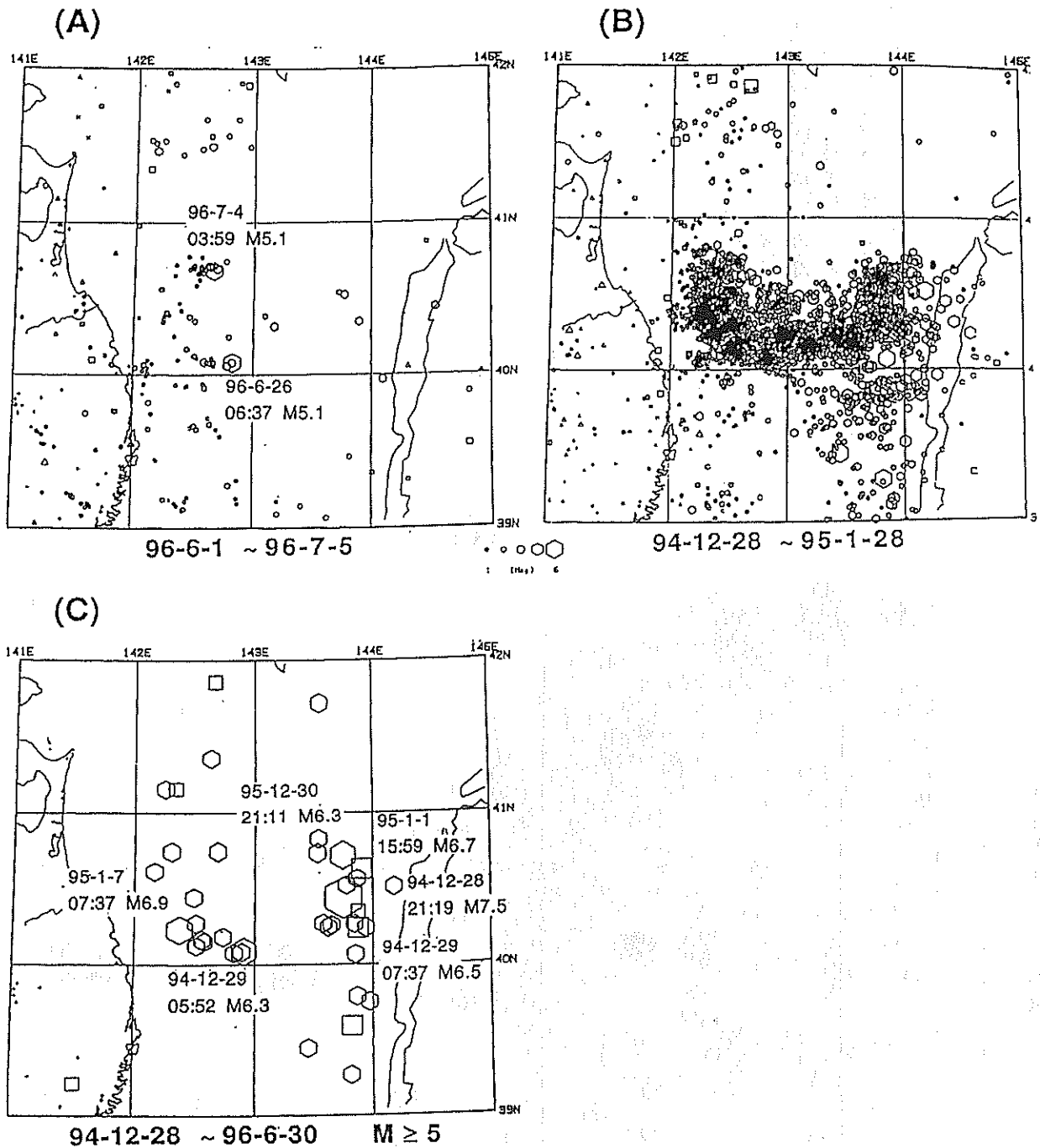
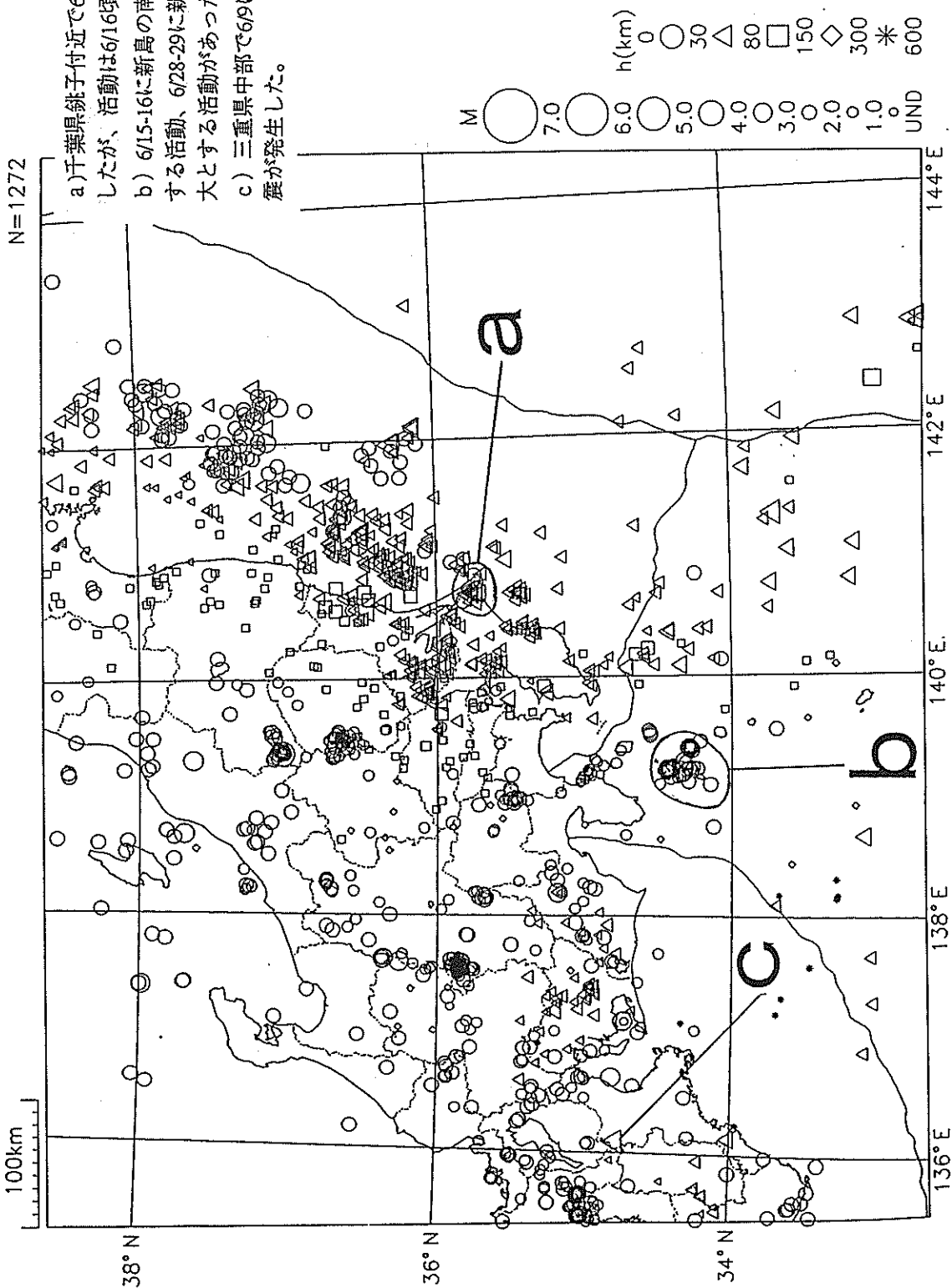


Fig.1 三陸沖の地震活動. (A) 1996年6月1日～1996年7月5日に発生した地震の震央分布, (B) 1994年三陸はるか沖地震 (M7.5) の発生から1ヶ月の期間に発生した地震の震央分布, (C) 1994年三陸はるか沖地震 (M7.5) の発生から1996年6月30日の期間に発生した $M \geq 5$ の地震の震央分布

関東・中部地方

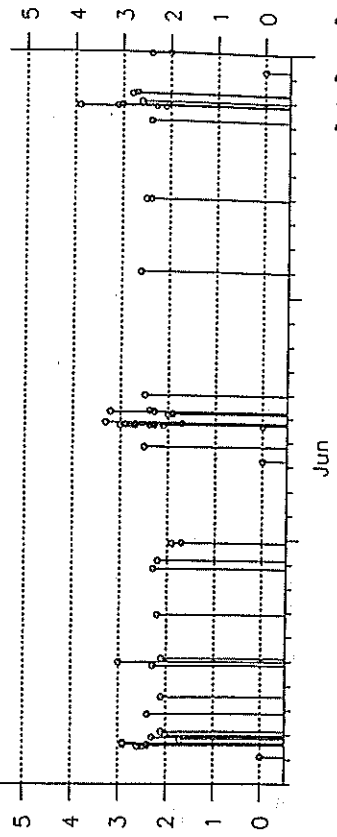
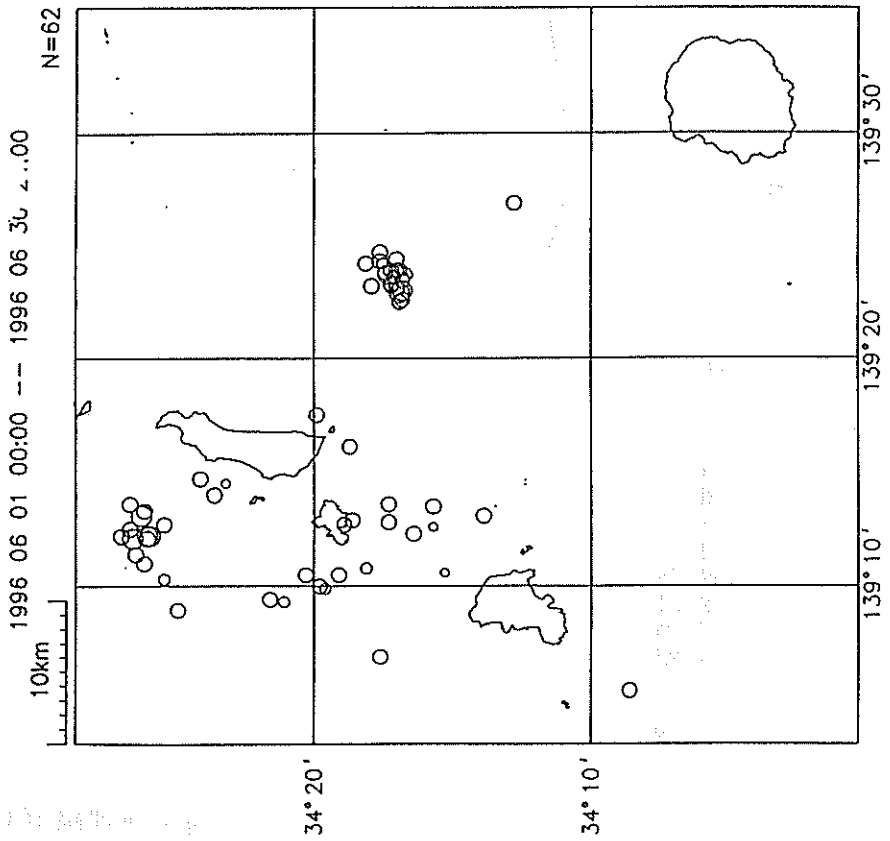
1996 06 01 00:00 -- 1996 06 30 24:00

N=1272



- a) 千葉県銚子付近で6/12にM4.4の地震が発生したが、活動は6/16頃には収まった。
- b) 6/15-16に新島の南東海域でM3.3を最大とする活動、6/28-29に新島北西海域でM3.9を最大とする活動があった。
- c) 三重県中部で6/9にM4.0 (深さ62km)の地震が発生した。

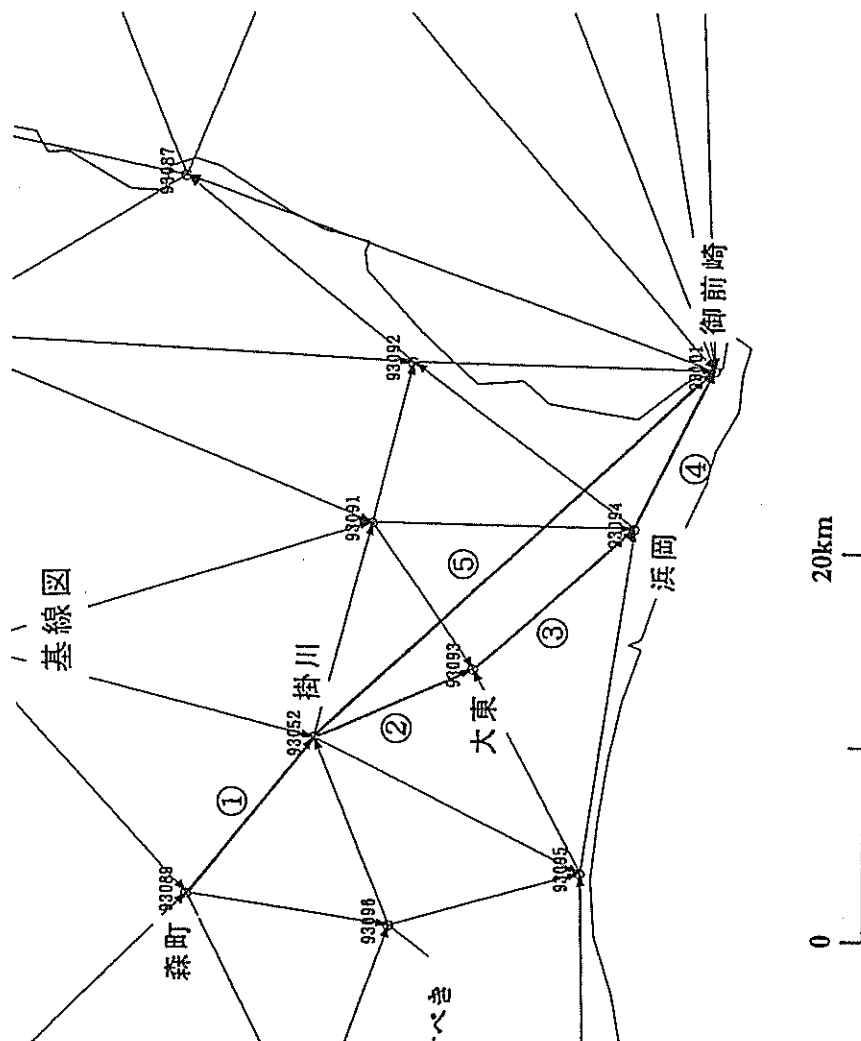
新島～神津島付近の地震活動



与佐中

6/15-16に新島の南東海域でM3.3を最大とする活動、
6/28-29に新島北西海域でM3.9を最大とする活動があっ
た。

GPS連続観測 掛川・御前崎周辺



掛川・御前崎周辺の基線には、特筆すべき変化は見られない。

基線長変化

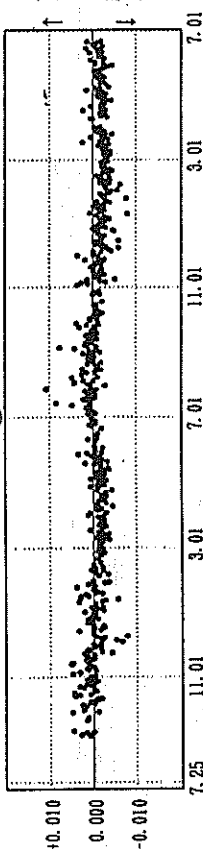
精密暦使用

比高変化

1996年 6月22日

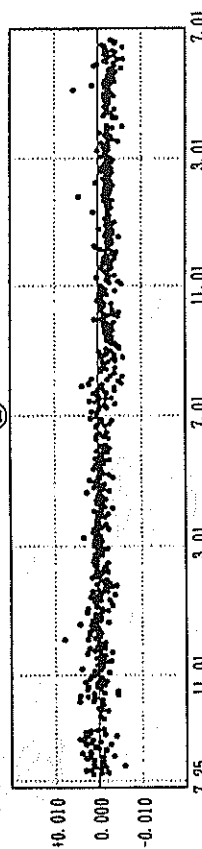
(*) 93089 → 93052 (森町 ~ 掛川) ①

基準値 : 10114.185m



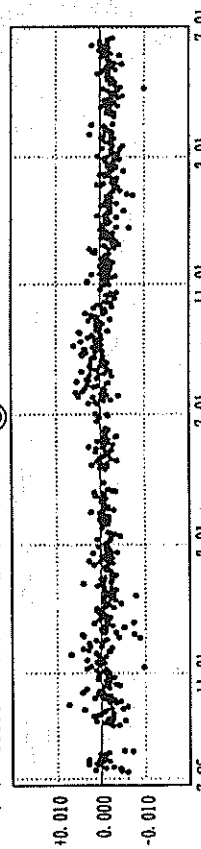
(*) 93052 → 93093 (掛川 ~ 大東) ②

基準値 : 8508.177m



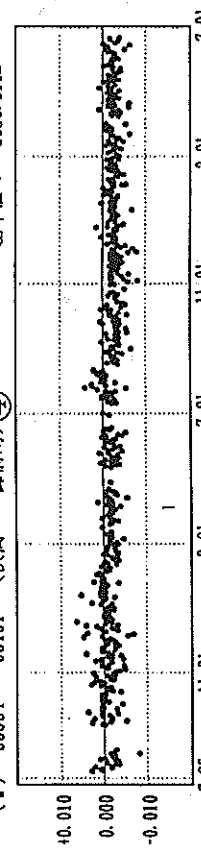
(*) 93093 → 93094 (大東 ~ 浜岡) ③

基準値 : 10611.491m



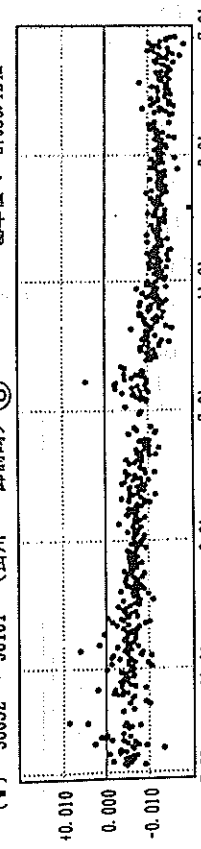
(*) 93094 → 93101 (浜岡 ~ 御前崎) ④

基準値 : 8950.016m



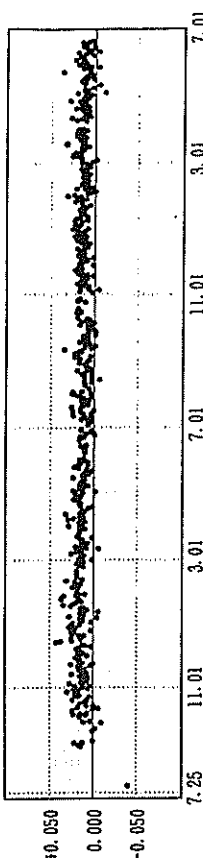
(*) 93052 → 93101 (掛川 ~ 御前崎) ⑤

基準値 : 27036.124m



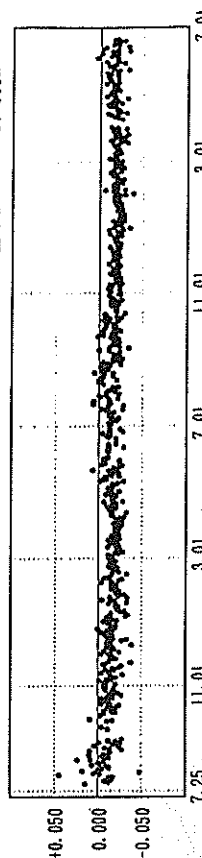
(*) 93089 → 93052 (森町 ~ 掛川)

基準値 : -6.434m



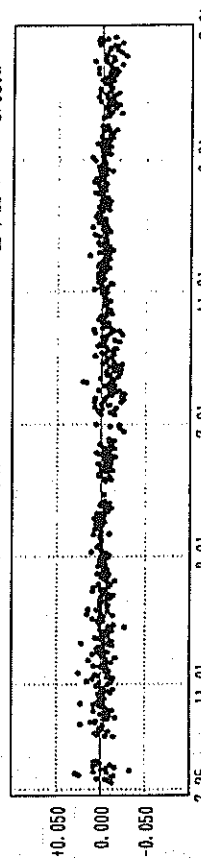
(*) 93052 → 93093 (掛川 ~ 大東)

基準値 : -37.998m



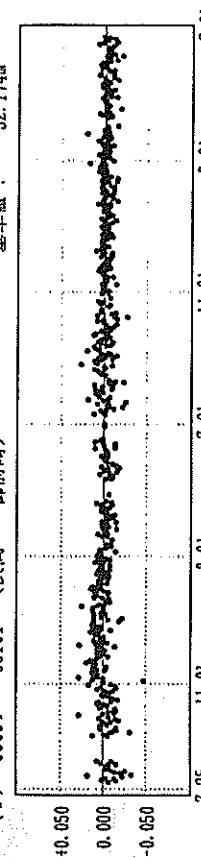
(*) 93093 → 93094 (大東 ~ 浜岡)

基準値 : 3.681m



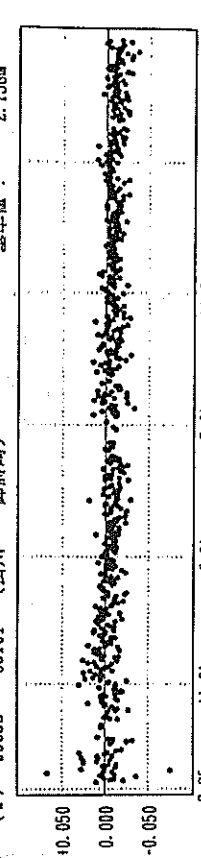
(*) 93094 → 93101 (浜岡 ~ 御前崎)

基準値 : 32.174m



(*) 93052 → 93101 (掛川 ~ 御前崎)

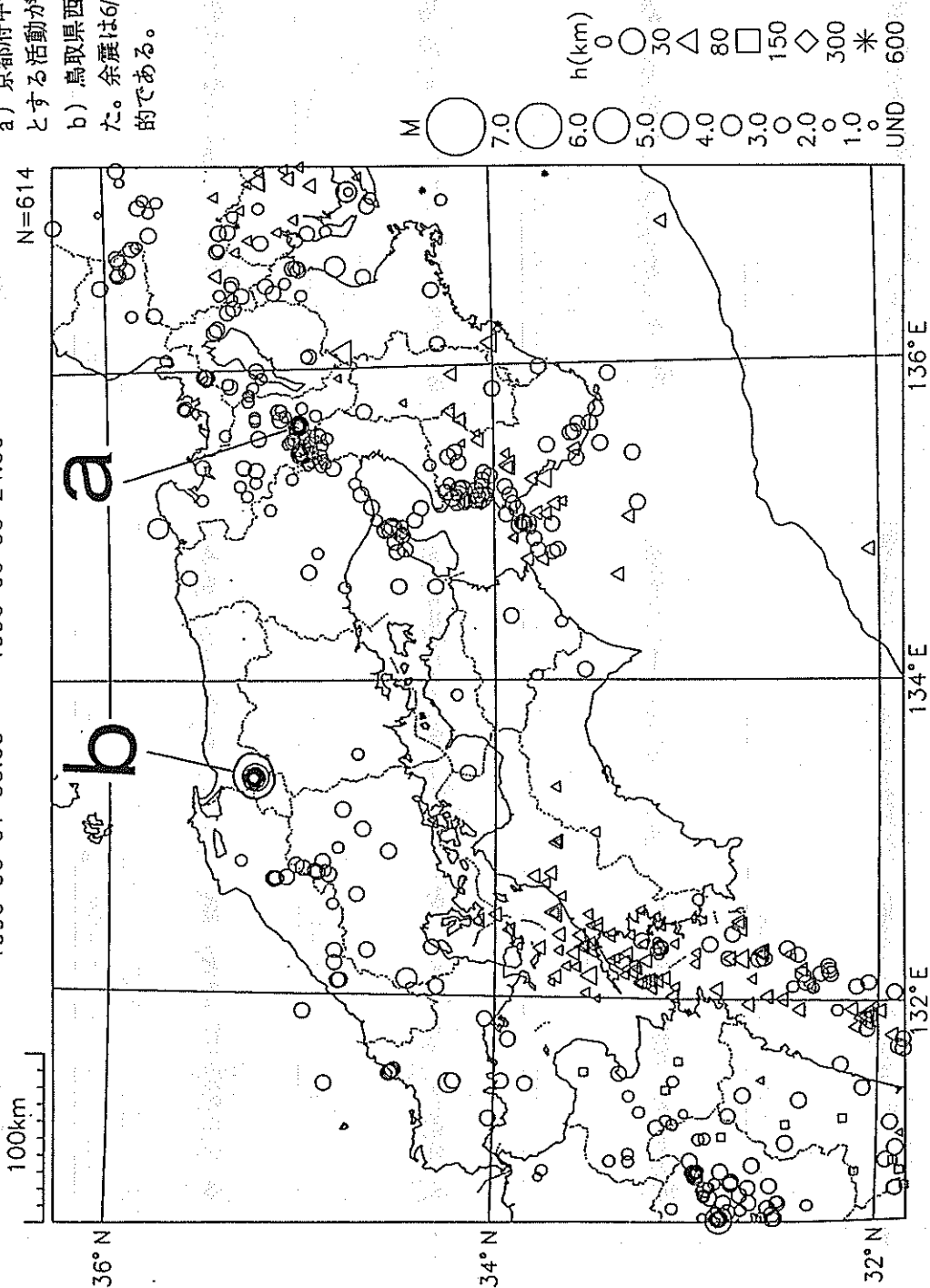
基準値 : -2.158m



国土地理院資料

近畿・中国・四国地方

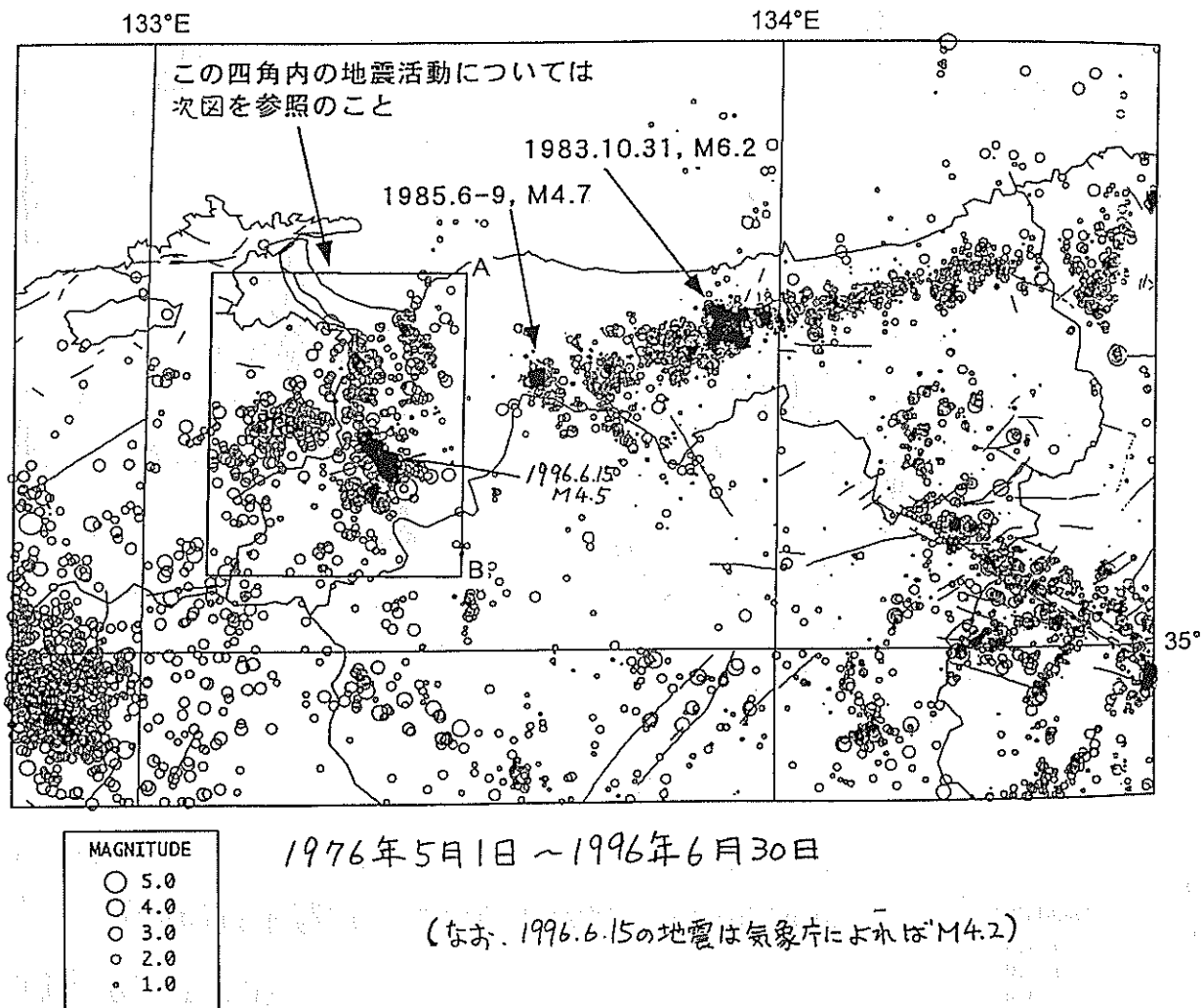
1996 06 01 00:00 -- 1996 06 30 24:00



- a) 京都府中部で5/23-6/14にM3.9(5/29)を最大とする活動があった。
- b) 鳥取県西部で6/15にM4.2の地震が発生した。余震は6/16まで多発したがその後は散発的である。

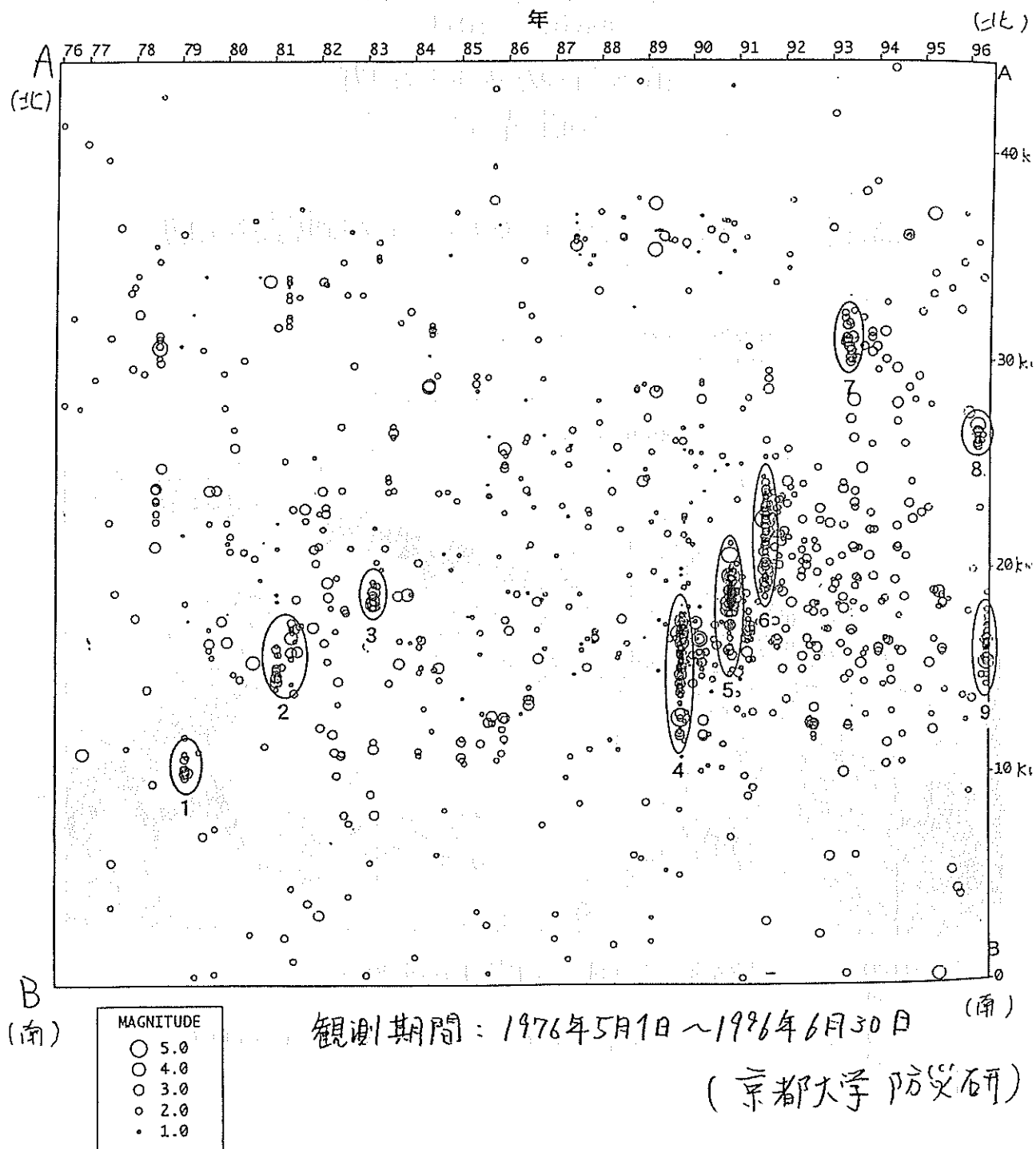
地震調査委員会資料
1996年7月10日
京都大学防災研究所
地震予知研究センター

鳥取・島根県境付近の最近の地震活動

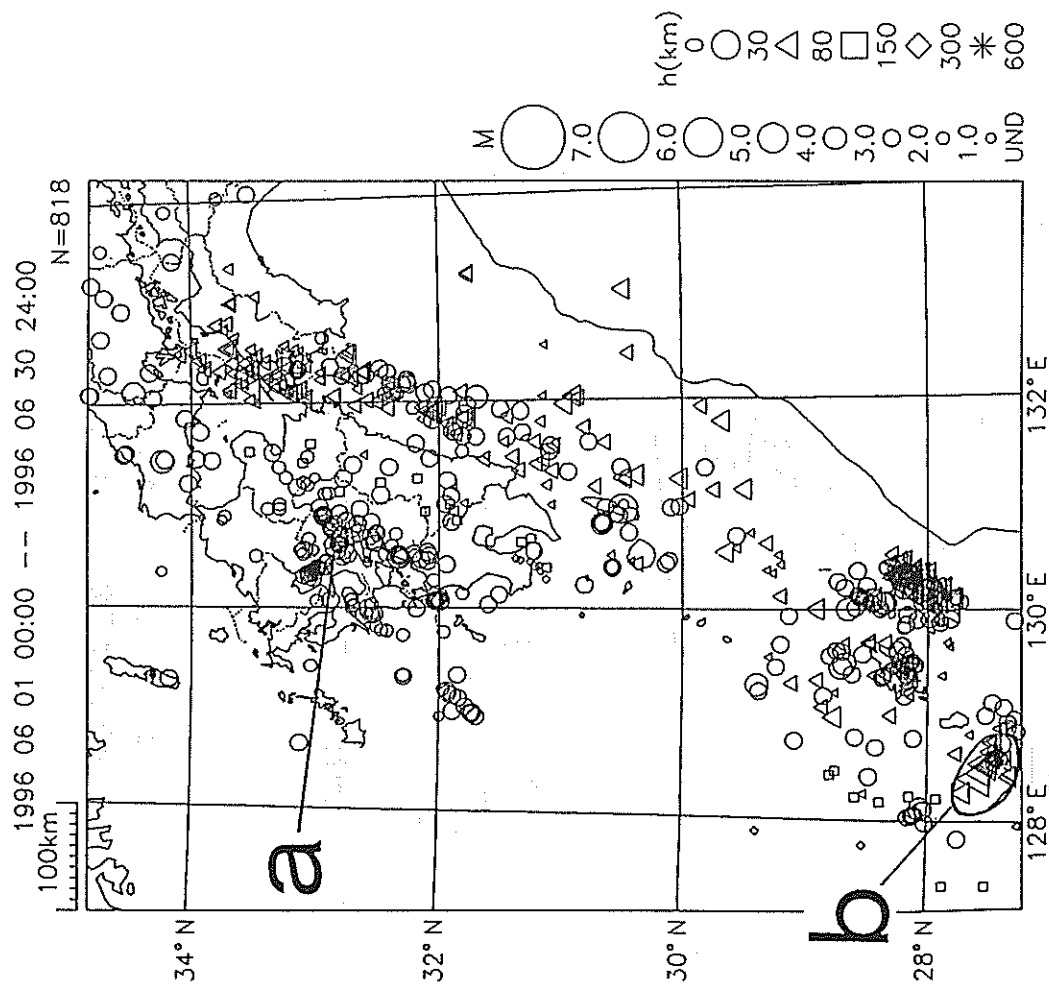


鳥取県周辺の地震活動

前ページの枠の範囲の地震についての時空間プロット



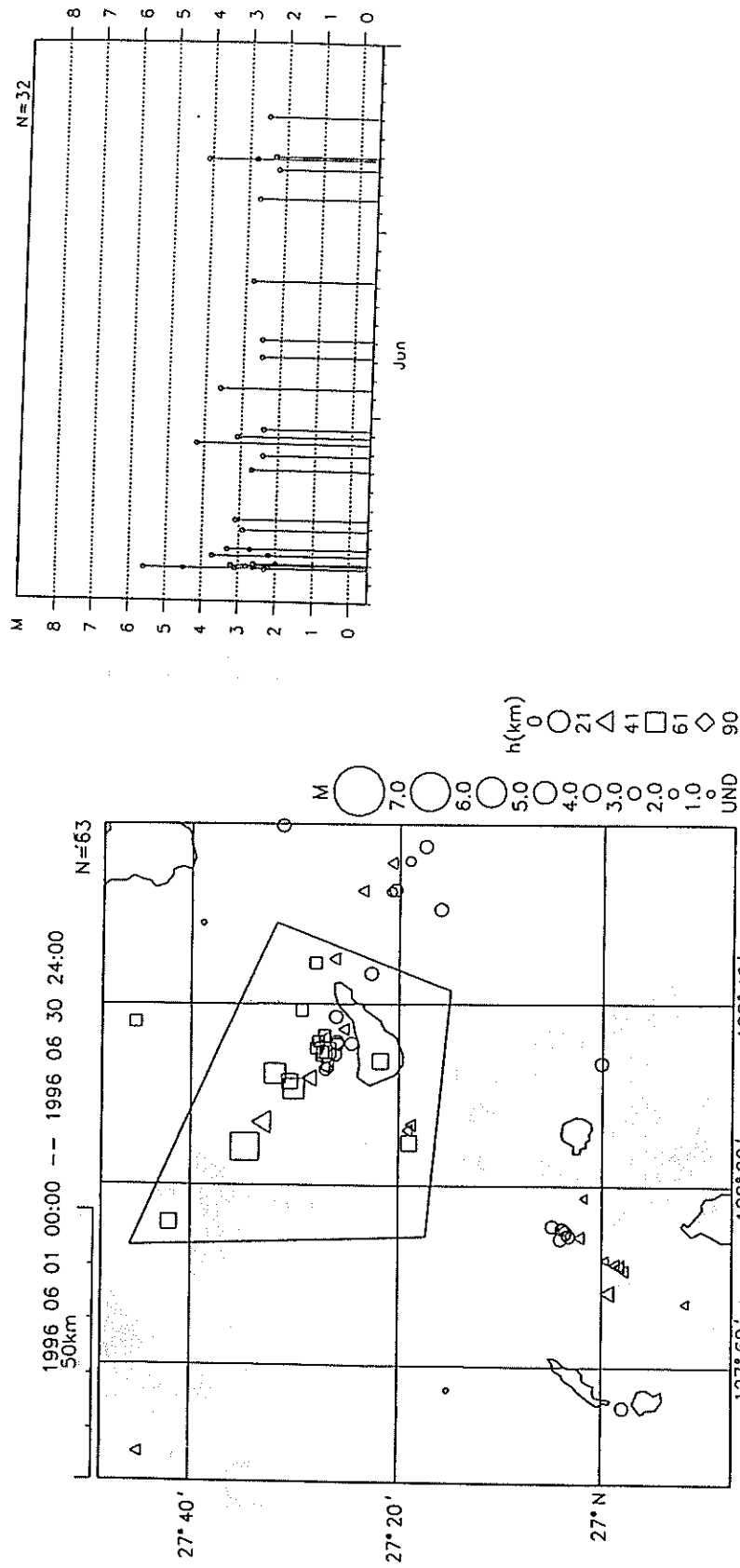
九州地方



a) 熊本県西部の金峰山付近で6/29にM4.3の地震が発生した。

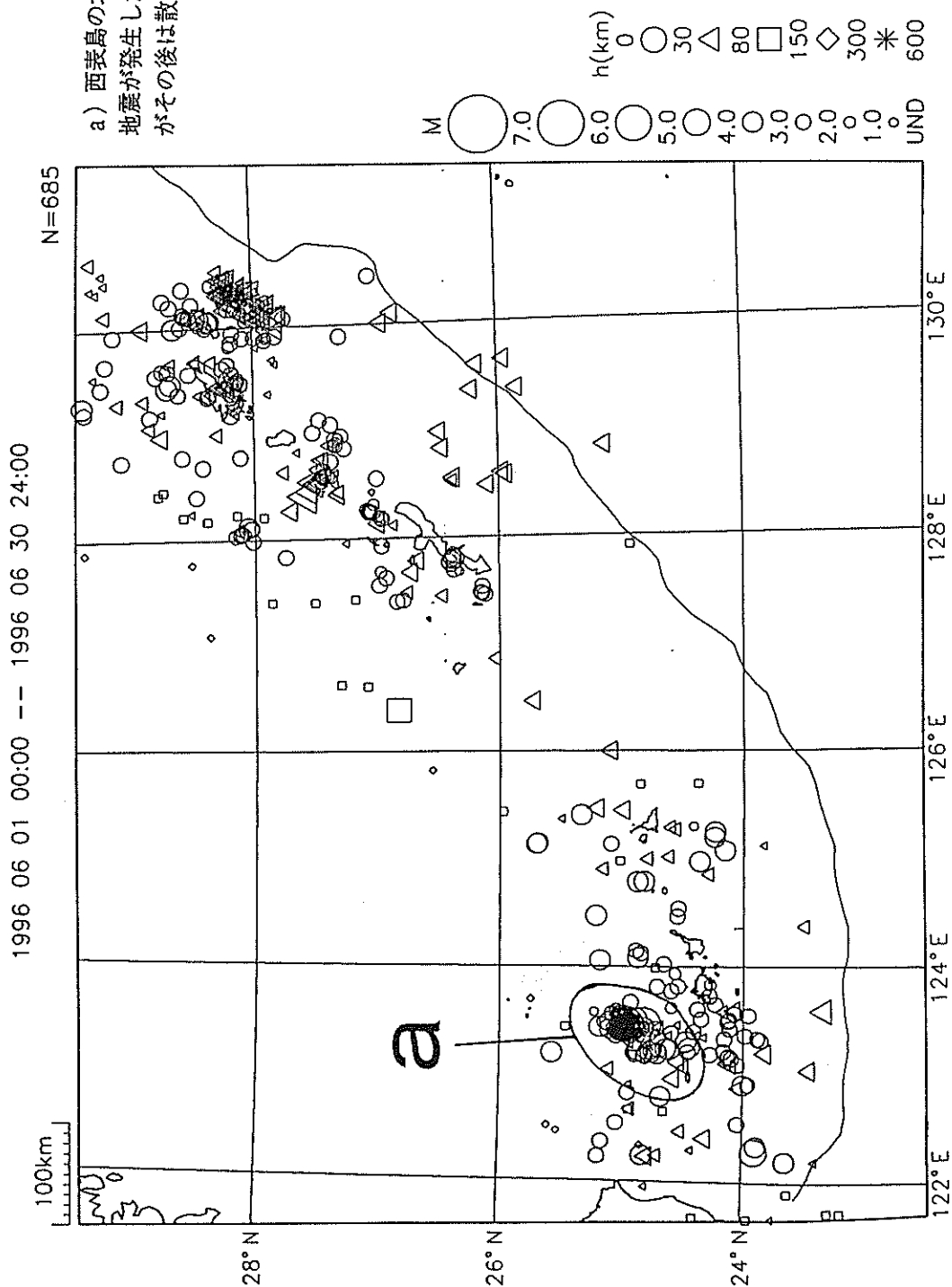
b) 沖永良部島で6/21にM5.6の地震が発生した。余震活動は下旬にはほぼ収まっている。

沖永良部島付近の地震 (1996/'2 M5.6)



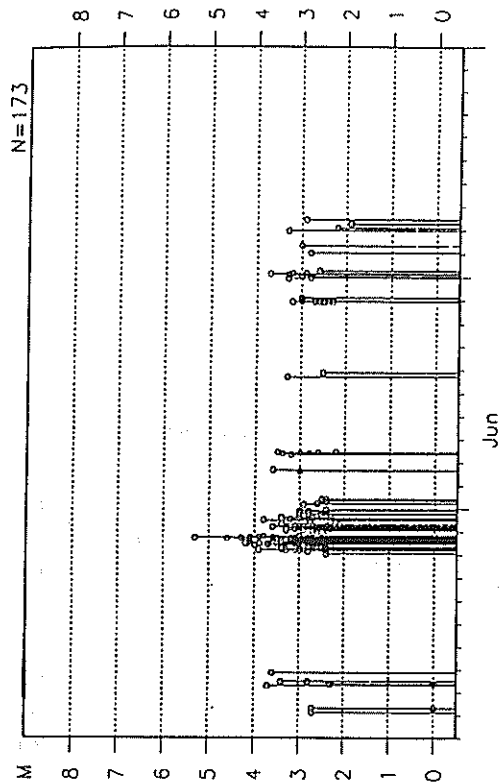
北西—南東圧縮の逆断層である。
余震活動は下旬にはほぼ収まっている。

沖縄地方



a) 西表島の北西約80kmの沖合で最大M5.3の地震が発生した。6/9～6/10に活動は集中したがその後は散発的である。

石垣島近海の地震活動



西表島の北西約80kmの沖合で最大
M5.3の地震が発生した。6/9～6/10に活
動は集中したがその後は散発的である。

